

先生各位

至急 一時受託中止および報告遅延のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび麻疹患者の急増に伴い、麻疹抗体検査の急激なご依頼の増加に対し、試薬の供給量が対応しきれない状況となっております。そのためやむを得ず下記項目についても一時受託中止、および代替項目については大幅に報告遅延が発生する旨の連絡が検査委託先よりございました。

それを受けて弊社といたしましても、誠に遺憾ながら同様の対応を取らざるを得ませんので、ご了承賜りたくご案内申し上げます

先生ならびに患者様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、重ねてよろしくようお願い申し上げます。

謹白

記

一時受託中止項目

《受託中止日》 平成 19 年 5 月 30 日（水）以降 【5 月 29 日まで受託】

《中止項目》

2007 年 検査案内	検査 コード	検査項目名称	代替項目
P.74	S 1579 L 1779	麻疹ウイルス抗体 【CF 法】	麻疹ウイルス抗体 IgG 【EIA 法】 【検査コード：S 1583 / L 1783】

S：血清コード L：髄液コード

《再開予定》 再開の目処が立ち次第ご案内申し上げます。

報告遅延項目

《対象項目》

2007 年 検査案内	検査 コード	検査項目名称
P.74	S 1583 L 1783	麻疹ウイルス抗体 IgG 【EIA 法】
	S 1584 L 1784	麻疹ウイルス抗体 IgM 【EIA 法】

S：血清コード L：髄液コード

《遅延理由》 試薬供給が間に合わないため、大幅な報告遅延（1ヶ月程度）となっております。